



ETK1343050E

MJC-KD3 標準工法書

ご使用の前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してからご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

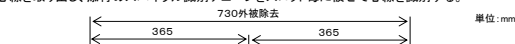
▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりとなっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

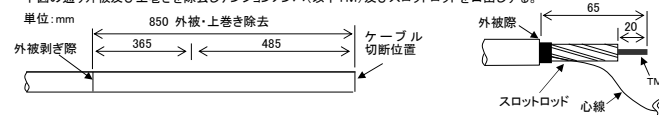
危険 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	本クロージャに関する安全上のご注意
警告 右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	・本クロージャは、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 ・架空での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。
注意 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	・刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・本クロージャの組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 ・締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。水の侵入やケーブル及びクロージャの破損の原因となります。 ・塩害地域では、ステンレス鋼でも腐食する場合があります。
注意 コの字形の金属カバーを使っているメカニカルスライスを使用する際には向きに注意してください	・余長収納トレイのホルダ部への挿入方向を注意してください。金属カバーが外れる恐れがあります。 金属カバーの向き × ○ ○ ↓
お願い 右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	・光ファイバの配線は、許容曲げ半径30mm以上をお守りください。 ・融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。 ・本クロージャの解体・再組立・導入ケーブルの追加などの作業を行う際は別途、部品の交換が必要とする場合がありますので、事前に弊社・営業担当までご相談ください。

▽ 組立方法**1. 主ケーブルの処理****1-1 スロット無切断引き通しの場合**

- ・下図の通り外被を剥ぎ取る。
- ・外被剥ぎ際は1号保護テープ(10mm 幅/オプション品)を巻いて、保護テープの際から上巻を除去する。
- ・スロットロッドから心線を取出し、添付のスパイラル識別チューブをスロット毎に被せて心線を識別する。

**1-2 ケーブル端末の場合**

- ・下図の通り外被及び上巻きを除去しテンションメンバ(以下TM)及びスロットロッドを口出する。



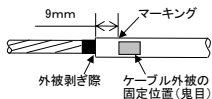
1

ETK1343050E

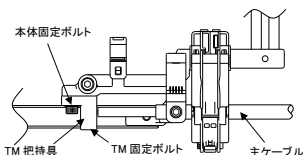
3. ケーブル取付**3-1 主ケーブルの取付****3-1-1 前処理****A) スロット無切断引き通しの場合**

(スロット無切断引き通しの場合は、6項を参照ください。)

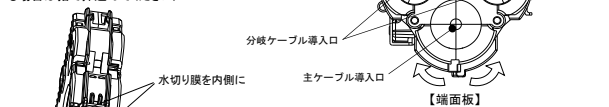
- ・右図の通りケーブルの両側にケーブル外被の固定位置のマーキングをする。
- ・保護シートは作業面側にある丸穴に指を掛けて手前側に引き抜く。
- ・フレームに主ケーブル用のテンションメンバ(TM)把持具が取り付けられている場合は固定ネジを緩めて取り外す。

**B) ケーブル端末の場合**

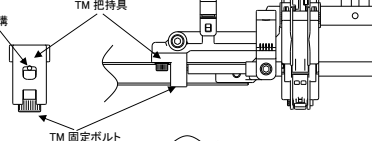
- ・フレームに主ケーブル用のテンションメンバ(TM)把持具が無い場合は図の通り TM 把持具(オプション品)を本体固定ボルトにて取り付け。

**3-1-2 端面板へのケーブル導入**

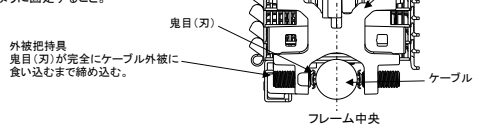
- ・端面板の下側にある、主ケーブル導入口のラッチを押下して嵌合を外す。(ピンジに手を添えると開けやすくなります)
- ・ケーブルを導入口に挿入しグロメットの氷切り膜(ペロ)が内側に倒れるようにケーブルを挟み込んでラッチを閉じる。
- ・ラッチの嵌合後はグロメットの氷切り膜が内側にあることを確認する。(外側に出ている場合は指で押込んでください)

**3-1-3 TM の固定(ケーブル端末の場合のみ)**

- ・TM 固定ボルトを締め、テンションメンバをTM固定穴に挿入しV溝に収まる位置に合わせて TM 固定ボルトを締め付けトルク4N・mで固定する。

**3-1-4 ケーブル外被の固定**

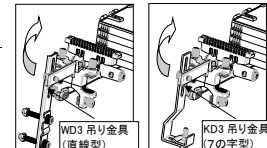
- ・フレームの外被把持具を締め付けて固定する。
- ・鬼目はケーブルの丸みと鬼目自体の丸みが合うように方向を決めて
- ・鬼目(刃)が完全にケーブル外被に食い込むまでボルトを締め込む。
- ・注意 ケーブルが変形しないように注意すること。
- ・ケーブルはフレーム中央に位置するように固定すること。



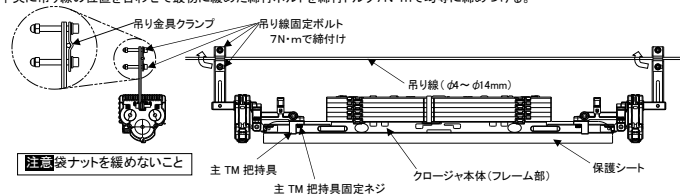
3

2. クロージャ取付

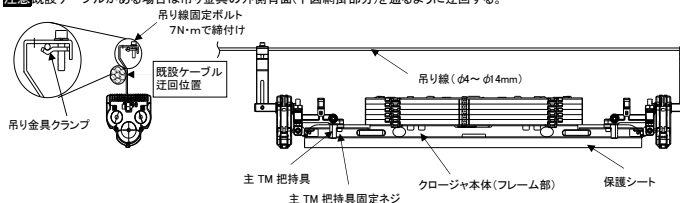
- ・吊り金具固定ボルトを緩めて吊り金具を回転させて図の様な向きにして、緩めた固定ボルトを締付トルク4N・mで締め直す。
- ※この作業は吊り金具落下防止のため、予め地上にて行うことを推奨します。
- 注意 吊り金具のネジを緩めすぎて落下紛失の無いように注意

**WD3 吊り金具の場合(直線型)**

- ・吊り金具固定ボルトを緩めて吊り金具クランプを回転させて、吊り金具に支持線を引っ掛けたのち、吊り金具クランプの「く」の字中央に吊り線の位置を合わせて最初に緩めた締付ボルトを締付トルク7N・mで均等に締めつける。

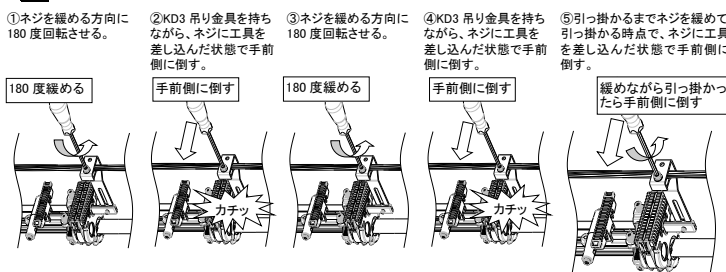
**KD3 吊り金具の場合(7の字型)**

- ・吊り金具固定ボルトを緩めて、吊り金具に支持線を引っ掛けたのち、吊り金具クランプの「く」の字中央に吊り線の位置を合わせて最初に緩めた締付ボルトを締付トルク7N・mで均等に締めつける。
- 注意 既設ケーブルがある場合は吊り金具の外側背面(下図網掛部分)を通るように迂回する。



- ・締付後に取り外す場合は、以下の手順通りにネジを外す。

注意 手順通りに行わないと吊り金具固定用ボルトがかり、破損することがあるので注意

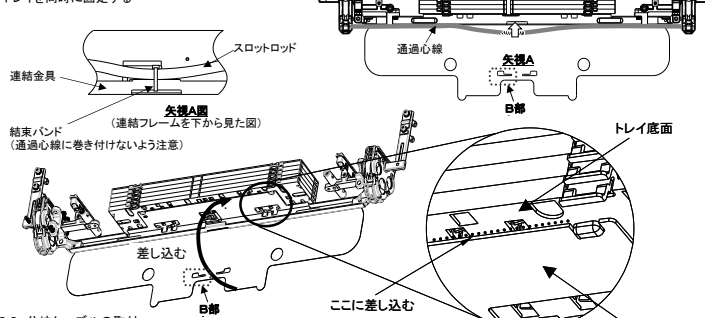


2

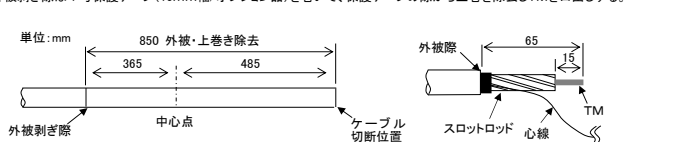
ETK1343050E

3-1-5 スロットロッドの固定(スロット無切断引き通しの場合のみ)

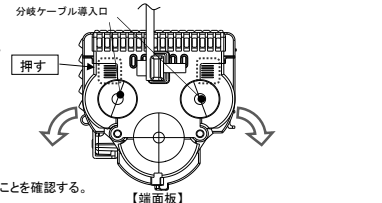
- ・スロットロッドを少したわませて、添付の結束バンドにてフレーム中央の下側にスロットロッドを固定する。
- ・保護シートをトレイと連結金具の間に差し込む。
- ・トレイ固定用の面ファスナをB部の穴に通してシートとトレイを同時に固定する

**3-2 分岐ケーブルの取付****3-2-1 前処理**

- ・分岐ケーブルを下図の通り、外被を剥ぎ取る。
- ・外被剥ぎ際は1号保護テープ(10mm幅/オプション品)を巻いて、保護テープの際から上巻を除去しTMを口出する。

**3-2-2 端面板へのケーブル導入**

- ・端面板の分岐ケーブル導入口の側面にある
- ・横線印を左右から同時に押し嵌合を外して導入口を開く。



- ・ケーブルを導入口に挿入しグロメットの氷切り膜(ペロ)が内側に倒れるようにケーブルを挟み込んでラッチを閉じる。
- 注意 ラッチの嵌合後はグロメットの氷切り膜が内側にあることを確認する。(外側に出ている場合は指で押込んでください)



4

